

パフォーミングアーツ科 カリキュラム

TSM渋谷パフォーミングアーツ科では、確かなテクニックと個性的な音楽性を持った人材育成を考え、カリキュラム作成を行っています。

1年次ではプロミュージシャンとしてのテクニックの基礎を学び、2年次ではクリエイティブな人材を育成する為の専門性の高い課題に取り組み、現場実習に参加します。

○カリキュラム例

英会話	一般的な日常会話程度のコミュニケーション英語能力を身につけます。
音楽史	現在のミュージックシーンをジャンルなどの様々な角度から考察し、それらのルーツや歴史を学習する。
著作権	音楽ビジネスを展開していく上で必要不可欠な著作権の知識、音楽に関する権利関係及び業界のリアルタイムな現状を学ぶ。
音楽理論1	音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、楽譜からアレンジまで実践的な要素も学ぶ。
イヤートレーニング1	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創造力を習得する。
ヴォイストレーニング1	基本的な発声練習を学ぶ。また、ミュージシャンに必要なコード理論やボーイング法を学ぶ。
ステージパフォーマンス1	音楽業界の仕組みや個人の作曲やアレンジを学び、ステージでのプレゼンテーション力を養う。
アクティング1	ヴォーカリストとしての歌・パフォーマンスに対するテクニック及び各楽器のアプローチ法やそのテクニックを学ぶ。各コースに対してのプライベートケアを行う。
楽器演奏1	インスト楽曲のセッションアンサンブルのスキルを学び習得する。
楽器アンサンブル1	課題曲による合奏形式の実践指導をする(様々なジャンルを幅広く学ぶ)。技術面だけでなく、バンドアンサンブルを通してマインド面、コミュニケーション力を上げる事も目的の一つである。
卒業制作	2年間の集大成として、これまで学んできた知識・技術を使って表現した成果を総合的に審査し、卒業に値する理解・演習力を習得しているか評価します。

音楽テクノロジー科 カリキュラム

TSM渋谷音楽テクノロジー科では、時代の変化に即戦力に対応できる人材育成を考え、カリキュラム作成を行っています。

1年次ではコンサートや舞台、エンジニアとしての基礎を学び、2年次では専門性の高い課題に取り組み、現場実習に参加します。

○カリキュラム例

英会話	一般的な日常会話程度のコミュニケーション英語能力を身につけます。
音楽史	現在のミュージックシーンをジャンルなどの様々な角度から考察し、それらのルーツや歴史を学習する。
著作権	音楽ビジネスを展開していく上で必要不可欠な著作権の知識、音楽に関する権利関係及び業界のリアルタイムな現状を学ぶ。
音楽理論1	音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、楽譜からアレンジまで実践的な要素も学ぶ。
イヤートレーニング1	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創造力を習得する。
音響学	音響機材に実際に触れながら音響理論や将来現場で必要となる知識を更に深く学ぶ。
照明概論	照明スタッフに必要な基礎知識として、様々な器材やホールに関する知識、電気知識、光の効果などを学ぶ。
レコーディング概論	レコーディングに関するスタジオシステムの基本的理解からレコーディング作業のスタッフワーク、機材の具体的使用方法、録音テクニックの基本を実際のバンド録音等も行いながらレコーディング技術の総理解を実践的に学ぶ。
楽器演奏1	インスト楽曲のセッションアンサンブルのスキルを学び習得する。
舞台機構	舞台に関わるスタッフに必要な知識を学ぶ。舞台専門用語やタイムスケジュール、関係セクションの基礎知識、イベントの企画・演出などについて幅広い知識を得る。
卒業制作	3年間の集大成として、これまで学んできた知識・技術を使って表現した成果を総合的に審査し、卒業に値する理解・演習力を習得しているか評価します。